

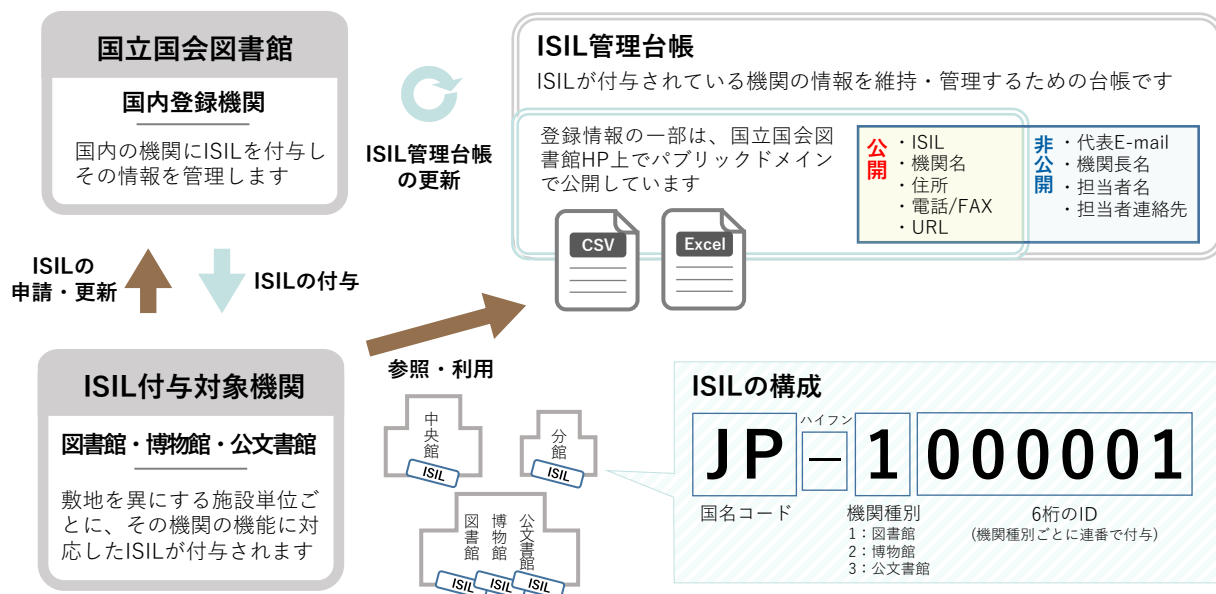
2022年10月から博物館・公文書館へのISIL付与を開始しました

## ISILとは？

- 図書館と、博物館や文書館等の関連組織に付与される国際的な識別子です。
- 資料やデータの流通・管理等に活用されることが期待されています。
- 国際規格ISO 15511として発行され、世界30か国以上で採用されています。

## ISILの付与と管理

日本国内では、2011年から国立国会図書館がISILの付与・管理を行っています。



## ISILの活用例

国内の関連組織を一意に同定することができる機関情報データが整備されることで、調査研究や資料管理など、様々な場面でISILを活用できます。

### 国内機関データの共有

日本国内にある図書館・博物館・公文書館を一覧できるデータベースとして、対象機関に関する調査等への活用が期待されます



### 資料の個体識別への活用

ISILを組み込んだIDを資料に付与することで、機関を越えて資料が一意に識別できるようになり、機関間の資料貸借等における資料管理に活用できます



### よくあるご質問

- Q ISILの登録や維持に費用はかかりますか？  
A 登録費や維持費は不要です。
- Q ISILが付与されると何か作業が発生しますか？  
A 特に必要な作業はありません。移転などにより情報に変更が生じた場合は事務局へお知らせください。
- Q 歴史資料館のように、博物館と公文書館の両方の機能を有する場合、どのような扱いになりますか？  
A 機能ごとにISILを付与します。そのため、一つの機関が複数のISILを持つことがあります。

ISILの詳しい情報は、  
国立国会図書館ホームページをご覧ください。<https://www.ndl.go.jp/library/isil>